

# 外科



診療科長  
(肝胆膵責任者)  
猪飼 伊和夫

専門医資格等 日本外科学会 外科専門医、指導医  
日本消化器外科学会 消化器外科専門医、指導医  
日本肝胆膵外科学会 肝胆膵外科高度技能指導医  
日本がん治療認定医機構 がん治療認定医  
日本消化器外科学会 消化器がん外科治療認定医  
京都大学医学部 臨床教授  
京都大学 医学博士  
京都大学 非常勤講師

専門分野 肝胆膵外科

得意疾患 肝臓がん、胆道がん、膵臓がん

## □ スタッフ

平成25年10月1日時点

	氏名	専門医資格等	専門分野	得意疾患
医 長 臨床栄養科長 (上部消化管責任者)	大谷 哲之	日本外科学会 外科専門医 日本消化器外科学会 消化器外科認定医 日本がん治療認定医機構 癌治療認定医 暫定教育医 京都大学医学部 臨床教授	上部消化管	胃がん 食道がん
医 長 (下部消化管責任者)	山口 高史	日本外科学会 外科専門医 日本消化器外科学会 消化器外科専門医・ 指導医 日本消化器外科学会 消化器がん外科治 療認定医 日本大腸肛門病学会 大腸肛門病専門医・ 指導医 日本内視鏡外科学会 内視鏡外科技術認 定医・技術認定審査員・評議員 京都大学医学部 臨床准教授 京都大学 非常勤講師	下部消化管	大腸がん 骨盤外科
医 長 (乳腺責任者)	坂田 晋吾	日本外科学会 外科専門医 日本乳癌学会認定医 マンモグラフィ読影医	乳腺	乳がん
医 師	成田 匡大	日本外科学会 外科専門医・指導医 日本消化器外科学会 消化器外科専門医 日本消化器外科学会 消化器がん外科治 療認定医 日本消化器病学会 専門医 Le Diplôme Inter Universitaire EUROPEAN CANCERS HEPATO BILIO PANCREATIQUES 京都大学 医学博士 京都大学 非常勤講師	肝胆膵外科	肝臓がん 胆道がん 膵臓がん
医 師	畑 啓昭	日本外科学会 外科専門医 日本消化器外科学会 消化器外科専門医 日本消化器外科学会 消化器がん外科治 療認定医 日本外科感染症学会 周術期感染管理認 定医・暫定教育医・評議員 日本食道学会 食道科認定医 日本がん治療認定医機構 がん治療認定医 ICD(インフェクションコントロールドクター)	上部消化管	胃がん 食道がん

	氏名	専門医資格等	専門分野	得意疾患
医師	松末 亮	日本外科学会 外科専門医 日本消化器外科学会 消化器外科専門医・指導医 日本消化器外科学会 消化器がん外科治療認定医 日本がん治療認定医機構 がん治療認定医 日本内視鏡外科学会 内視鏡外科技術認定医 京都大学 医学博士	下部消化管	大腸がん 肛門疾患
医師	谷 昌樹			
専修医	森山沙也香			
専修医	花田 圭太			
専修医	川口 清貴			
専修医	佐治 雅史			
専修医	菊地 志織			
専修医	中西 宏貴			
非常勤医師	大和 俊夫	日本外科学会 外科認定医	外科一般	
非常勤医師	寺島 隆平		肛門科	
非常勤医師	植弘奈津恵	日本外科学会 外科専門医 日本乳癌学会 専門医 検診マンモグラフィ読影認定医 日本がん治療認定医機構 がん治療認定医	乳腺	

## □ 診療科の特徴

施設認定等	日本外科学会外科専門医修練施設 日本消化器外科学会専門医修練施設 日本肝胆膵外科学会認定肝胆膵外科高度技能専門医修練施設A 日本大腸肛門病学会認定施設 日本乳癌学会関連施設 日本外科感染症学会外科周術期感染管理教育施設 JCOG大腸がんグループ参加施設 JCOG胃がんグループ参加施設
-------	---

1. 消化器がんや乳がんなど悪性腫瘍の外科治療を中心に行っています。
2. 臓器別(上部消化管・下部消化管・肝胆膵・乳腺)に専門医がおり、専門性が高く高度で安全な外科手術を行っています。
3. 腹腔鏡手術を始めとした低侵襲な手術(体への負担が少ない手術)を積極的に行なっている一方、高度進行がんに対しては、必要に応じて拡大手術を行ったり、抗がん剤や放射線を併用した集学的治療を行って臓器温存を図ったりしています。
4. 外科医、消化器内科医、放射線科医、腫瘍内科医、病理医が協議して治療方針を検討しています。  
各科が必要に応じた治療が可能のため、特定の科の治療にかたよることもありません。

## □ 主な対象疾患

食道がん、胃がん、大腸がん、肝がん、胆嚢がん、胆管がん、膵臓がん、乳がん

## □ 診療(業務)内容

消化器がん(食道がん、胃がん、大腸がん、肝がん、胆嚢がん、胆管がん、膵臓がん)や乳がんを中心とし、腹部良性疾患、肛門疾患や腹部救急疾患の外科治療を行っております。

□ 診療実績(平成25年度)

入院患者数

1日平均患者数	新入院患者数	平均在院日数
46.0名	1,069名	15.3日

外来患者数

1日平均患者数
76.1名

手術実績

全手術件数(外来手術含める)	996件
全麻手術	761件
腰麻手術	93件
局麻手術	142件

※うち緊急手術件数167件

主な術式別手術件数

術式	手術件数	※うち鏡視下手術 (ポリペクトミー、EMR,ESDなど 内視鏡的切除は除く)
食道がん切除術	8	8
幽門側胃切除術(幽門保存胃切除術を含む)	61	38
胃全摘術(噴門側胃切除術を含む)	27	9
結腸切除術	109	80
直腸前方切除術	49	33
直腸切断術	7	5
肝切除術(葉切除以上)	20	0
肝切除術(区域・亜区域切除術)	19	5
肝切除術(上記以外)	8	0
膵頭十二指腸切除術	19	0
膵体尾部切除術(胃がん手術に伴うものは除く)	11	1
膵切除術(その他)	1	0
乳がん手術	72	0
胆嚢摘出術	136	91
脾摘術	0	0
虫垂切除術	58	24
ヘルニア手術(小児を除く)	111	1
良性肛門疾患手術	94	3
小児外科手術(ヘルニアも含む)	10	0

□ 地域医療連携・広報活動

2013.2.23	第11回京都肝臓外科セミナー 当科における肝切除 -超音波吸引破碎装置と水滴下式バイポーラを中心に-	成田匡大
2013.7.13	第38回 京大外科関連施設癌研究会 「審査腹腔鏡の適応・手技について」	谷昌樹、畑啓昭
2013.9.7	第24回伏見医師会 癌医療病診連携の会 術前遠隔転移陽性癌の長期生存例	中西宏貴、大谷哲之
2013.9.7	第24回伏見医師会 癌医療病診連携の会 術前化学療法が著効したStageIV膵癌の手術根治例	花田圭太、成田匡大
2013.9.14	第12回京都肝臓外科セミナー 意外と大事な第二助手 -第二助手で頑張ってる若い先生たちに捧げる-	成田匡大
2013.10.27	研修医のための輸液セミナー 「術後輸液」の部屋 何を どれだけ どんな根拠で?	畑啓昭
2014.1.23	京都医療センター がん診療セミナー 大腸がんのすべて～専門医によるリレー紹介～	講演 山口高史

□ 学術活動報告(学会・研究発表など)

区分	演者	演題	学会名	開催地	会期
国内学会	成田匡大 Elie Oussoultzoglou 猪飼伊和夫 畑啓昭 山口高史 松末亮 大谷哲之 Philippe Bachellier, Daniel Jaeck	結腸直腸癌肝転移症例に対する術前化学療法施行後に安全な肝切除を行うための必要残肝容量率は?	第113回 日本外科学会定期学術集会	福岡	2013
国内学会	畑啓昭 大谷哲之 川口清貴 佐治雅史 花田圭太 森山沙也香 谷昌樹 松末亮 成田匡大 坂田晋吾 山口高史 猪飼伊和夫	合併症経験から得た腹腔鏡下胃全摘後の再建におけるビットフォール	第113回 日本外科学会定期学術集会	福岡	2013
国内学会	成田匡大 川口清貴 佐治雅史 花田圭太 森山沙也香 谷昌樹 村上隆英 松末亮 畑啓昭 山口高史 坂田晋吾 大谷哲之 猪飼伊和夫	肝切除後血管合併症への対策Patency維持のためのOmental flap filling	第25回 日本肝胆膵外科学会学術集会	宇都宮	2013
国内学会	畑啓昭 大谷哲之 川口清貴 佐治雅史 花田圭太 森山沙也香 谷昌樹 松末亮 成田匡大 坂田晋吾 山口高史 猪飼伊和夫	食道癌手術時に作成した腸瘻が原因となった内ヘルニアの1例	第67回 日本食道学会学術集会	大阪	2013
国内学会	畑啓昭 坂井義治	PREV07-01:腹腔鏡補助下大腸切除術における予防的抗菌薬投与法設定の無作為比較試験第Ⅲ相試験、プロトコル概要と進行状況	平成25年度 JMTO臨床試験ワークショップ	名古屋	2013
国内学会	川口清貴 畑啓昭 大谷哲之 菊地志織 中西宏貴 佐治雅史 花田圭太 森山沙也香 谷昌樹 松末亮 成田匡大 山口高史 坂田晋吾 猪飼伊和夫	縦隔ドレナージのみで軽快した広範囲粘膜炎を伴った特発性食道裂孔の1例	第193回 近畿外科学会	京都	2013
国内学会	白田全弘 谷昌樹 畑啓昭 川口清貴 佐治雅史 花田圭太 森山沙也香 松末亮 成田匡大 坂田晋吾 山口高史 大谷哲之 猪飼伊和夫	竹串誤飲による小腸裂孔の1例	第193回 近畿外科学会	京都	2013
国内学会	坂田晋吾 吉田和世 小山智美 友井正弘	メタストロン治療の適応に関して～自験例4例の経験から	第21回 日本乳癌学会学術総会	浜松	2013
国内学会	吉田和世 山口哲哉 坂田晋吾	ラパニチブ+カペシタピン療法における投与の工夫	第21回 日本乳癌学会学術総会	浜松	2013
国内学会	猪飼伊和夫 花田圭太 森山沙也香 谷昌樹 村上隆英 松末亮 畑啓昭 成田匡大 山口高史 大谷哲之	グリソン鞘浸潤からみた大腸癌肝転移における系統的肝切除の重要性	第68回 日本消化器外科学会総会	宮崎	2013
国内学会	山口高史 松末亮 花田圭太 森山沙也香 谷昌樹 坂田晋吾 畑啓昭 成田匡大 大谷哲之 猪飼伊和夫	5ポート法による腹腔鏡下大腸切除術における細径鉗子の有用性の検討	第68回 日本消化器外科学会総会	宮崎	2013
国内学会	畑啓昭 大谷哲之 安井久晃 岡崎俊介 谷昌樹 村上隆英 松末亮 成田匡大 山口高史 猪飼伊和夫	P0CY1胃癌に対するR0手術を目的としたDCS3剤での導入化学療法のfeasibility	第68回 日本消化器外科学会総会	宮崎	2013
国内学会	松末亮 山口高史 花田圭太 森山沙也香 谷昌樹 村上隆英 畑啓昭 成田匡大 大谷哲之 猪飼伊和夫	高度狭窄大腸癌に対する術前金属ステント留置症例の検討	第68回 日本消化器外科学会総会	宮崎	2013
国内学会	花田圭太 山口高史 畑啓昭 松末亮 森山沙也香 谷昌樹 村上隆英 成田匡大 大谷哲之 猪飼伊和夫	劇症型偽膜性腸炎に対する外科的介入症例の検討	第68回 日本消化器外科学会総会	宮崎	2013
国内学会	伊藤剛 細木久裕 金谷誠一郎 畑啓昭 河野幸裕	Siewert II型食道胃接合部癌に対する、腹腔鏡下下部食道噴門側胃切除術	第68回 日本消化器外科学会総会	宮崎	2013
国内学会	岡崎俊介 山本鉄郎 猪飼伊和夫 安井久晃	ゲムシタピン(GEM)、S-1の不応後にカルボプラチン+パクリタキセル(TC)が奏効した藤原発のundifferentiated carcinomaの一例	第11回 日本臨床腫瘍学会学術集会	仙台	2013
国内学会	成田匡大 遠藤文司 水本吉則 山本鉄郎 猪飼伊和夫	胆管内乳頭腺癌治療切除後に多中心性発生を疑う残肝内胆管再発を来した一例	第49回 日本胆道学会学術集会	千葉	2013
国際学会	Hiroaki Hata, Takashi Yamaguchi, Suguru Hasegawa Akinari Nomura, Koya Hida, Satoshi Yamanokuchi Ryuta Nishitai, Takeharu Yamanaka, Yoshiharu Sakai	A randomized, multicenter, open-label phase III trial of oral and parenteral versus parenteral antibiotic prophylaxis in elective laparoscopic colorectal surgery: The Japan-Multinational Trial Organization PREV 07-01	ACS 2013年 米国外科学会会議	アメリカワシントン	2013
国内学会	波多野悦郎 猪飼伊和夫 上本伸二	高度門脈腫瘍栓を伴う肝細胞癌に対する肝切除の適応と再発予防-多施設共同試験に向けて	JDDW2013	東京	2013
国際学会	坂田晋吾 吉田和世	当センターにおけるBevacizumab+weekly nab-Paclitaxel療法の検討	第75回 日本臨床外科学会総会	名古屋	2013
国内学会	谷昌樹 畑啓昭 菊地志織 中西宏貴 川口清貴 佐治雅史 花田圭太 森山沙也香 松末亮 成田匡大 坂田晋吾 山口高史 大谷哲之 猪飼伊和夫	診断に苦慮した腸石を伴った十二指腸憩室炎の一例	第75回 日本臨床外科学会総会	名古屋	2013
国内学会	森山沙也香 山口高史 奥野博 菊地志織 中西宏貴 川口清貴 佐治雅史 花田圭太 谷昌樹 松末亮 畑啓昭 成田匡大 坂田晋吾 大谷哲之 猪飼伊和夫	直腸癌術後の異時性孤立性副腎転移の1切除例	第75回 日本臨床外科学会総会	名古屋	2013
国内学会	山口高史 松末亮 中西宏貴 菊地志織 佐治雅史 川口清貴 森山沙也香 花田圭太 谷昌樹 畑啓昭 成田匡大 坂田晋吾 大谷哲之 猪飼伊和夫	腹腔鏡下大腸癌手術におけるReduced Port Surgery の代替案としての細径鉗子の有用性	第26回 日本内視鏡外科学会総会	福岡	2013

国内学会	畑啓昭 大谷哲之 菊地志織 中西宏貴 川口清貴 佐治雅史 森山沙也香 花田圭太 松末亮 成田匡大 山口高史 猪飼伊和夫	LADG 後、結腸前Roux en Y 逆蠕動機能的端々吻合再建法の手技と成績	第26回 日本内視鏡外科学会総会	福岡	2013
国内学会	松末亮 山口高史 菊地志織 中西宏貴 川口清貴 佐治雅史 花田圭太 森山沙也香 谷昌樹 畑啓昭 成田匡大 大谷哲之 猪飼伊和夫	自動縫合器による機能的端々吻合の合併症を減らす工夫	第26回 日本内視鏡外科学会総会	福岡	2013
国内学会	谷昌樹 畑啓昭 菊地志織 中西宏貴 川口清貴 佐治雅史 花田圭太 森山沙也香 松末亮 成田匡大 坂田晋吾 山口高史 大谷哲之 猪飼伊和夫	【症例報告】腎細胞癌術後7年目に胃転移をきたし腹腔鏡下胃部分切除術を施行した一例	第26回 日本内視鏡外科学会総会	福岡	2013
国内学会	佐治雅史 松末亮 山口高史 菊地志織 中西宏貴 川口清貴 森山沙也香 花田圭太 谷昌樹 畑啓昭 成田匡大 坂田晋吾 大谷哲之 猪飼伊和夫	播種様病変を有する巨大腹腔内悪性リンパ腫に対して腹腔鏡診断が有用であった1例	第26回 日本内視鏡外科学会総会	福岡	2013
国内学会	畑啓昭	LADGにおける迷走神経先行切離による小弯郭清のメソッド	第86回 日本胃癌学会総会	横浜	2014

## □ 投稿論文など

著者	タイトル	著書・雑誌名	vol.	No	page	発行年 および月
畑啓昭	輸液スーパー指南塾 経過を追う症例問題で実践力を鍛える!第1章 実践に必要な輸液の基本~これだけ知っていれば大丈夫!9.輸液のセッティングについて	レジデントノート増刊	15	2	69-75	2013.4
山口高史 松末亮 畑啓昭 成田匡大 坂田晋吾 大谷哲之 猪飼伊和夫	III 結腸・直腸・肛門の鏡視下手術 結腸癌に対する鏡視下手術 腹腔鏡下結腸左半切除術 -下行結腸癌に対する5ポート法-	消化器外科 臨時増刊号	36	5	687-694	2013.4
Ogiso S, Ikai I, Narita, M, Murakami T, Hata H, Yamaguchi T, Otani T	Parenchyma-sparing anatomical liver resection based on Hjortsjo's concept: a venous-drainage-guided approach to identify the ventral segment fissure.	Langenbecks Arch Surg.	398	5	751-758	2013.6
Higashi T, Nakamura F, Shimada Y, Shinkai T, Muranaka T, Kamiike W, Mekata E, Kondo K, Wada Y, Sakai H, Ohtani M, Yamaguchi T, Sugiura N, Higashide S, Haga Y, Inoshita A, Yamamoto T, Ezaki T, Hanada S, Makita F, Sobue T, Okamura T	Quality of gastric cancer care in designated cancer care hospitals in Japan	International Journal for Quality in Health Care	25	4	418-428	2013.9
村上隆英 小木曾聡 畑啓昭 山口高史 大谷哲之 猪飼伊和夫	臨床報告 コレステロール結晶塞栓症に起因する腸閉塞の1例	臨床外科	68	7	837-840	2013.7
村上隆英 成田匡大 山本鉄郎 花田圭太 谷昌樹 松末亮 畑啓昭 山口高史 大谷哲之 猪飼伊和夫	十二指腸乳頭部に発生したmixed adenoneuroendocrine carcinomaの1例	日本消化器外科学会雑誌	47	2	108-115	2014.2
Kou T, Kanai M, Ikezawa K, Ajiki T, Tsukamoto T, Toyokawa H, Yazumi S, Terajima H, Furuyama H, Nagano H, Ikai I, Kuroda N, Awane M, Ochiai T, Takemura S, Miyamoto A, Kume M, Ogawa M, Takeda Y, Taira K, Ioka T	Comparative outcomes of elderly and non-elderly patients receiving first-line palliative chemotherapy for advanced biliary tract cancer.	J Gastroenterol Hepatol.	29	2	403-408	2014.2
Ikezawa K, Kanai M, Ajiki T, Tsukamoto T, Toyokawa H, Terajima H, Furuyama H, Nagano H, Ikai I, Kuroda N, Awane M, Ochiai T, Takemura S, Miyamoto A, Kume M, Ogawa M, Takeda Y, Taira K, Ioka T	Patients with recurrent biliary tract cancer have a better prognosis than those with unresectable disease: retrospective analysis of a multi-institutional experience with patients of advanced biliary tract cancer who received palliative chemotherapy.	J Hepatobiliary Pancreat Sci.	21	2	98-104	2014.2
Minata M, Kudo M, Harada KH, Ikai I, Nishida N	Expression of E-cadherin and vascular endothelial growth factor in noncancerous liver is associated with recurrence of hepatocellular carcinoma after curative resection.	Oncology.	84	Suppl	88-92	2013.2
Minata M, Harada KH, Kudo M, Ikai I, Nishida N	The prognostic value of vascular endothelial growth factor in hepatocellular carcinoma for predicting metastasis after curative resection.	Oncology.	84	Suppl	75-81	2013.2
Kawamura J, Hasegawa S, Kawada K, Yamaguchi T, Nagayama S, Matsusue R, Nomura A, Sakai Y	Feasibility and safety of laparoscopic total proctocolectomy with ileal pouch-anal anastomosis for severe ulcerative colitis.	Asian J Endosc Surg.	6	4	271-278	2013.11

Nakamura K, Hatano E Miyagawa-Hayashino A Okuno M, Koyama Y, Narita M Seo S, Taura K, Uemoto S	Soluble thrombomodulin attenuates sinusoidal obstruction syndrome in rat through suppression of high mobility group box 1.	Liver Int.	doi: 10.1111/liv.12420.			(in press)
Yamanaka K, Hatano E, Kanai M Tanaka S, Yamamoto K, Narita M Nagata H, Ishii T, Machimoto T Taura K, Uemoto S	A single-center analysis of the survival benefits of adjuvant gemcitabine chemotherapy for biliary tract cancer.	Int J Clin Oncol.	19	3	485-489	2014.1
Koyama Y, Taura K, Hatano E Tanabe K, Yamamoto G Nakamura K, Yamanaka K Kitamura K, Narita M, Nagata H Yanagida A, Iida T, Iwaisako K Fujinawa H, Uemoto S	Effects of oral intake of hydrogen water on liver fibrogenesis in mice.	Hepatol Res.	44	6	663-677	2014.1
Yamanaka K, Hatano E, Iguchi K Yamamoto G, Sato M, Toriguchi K Tanabe K, Takemoto K, Nakamura K Koyama N, Narita M, Nagata H Taura K, Uemoto S	Effect of olprinone on liver microstructure in rat partial liver transplantation.	J Surg Res.	183	1	391-396	2013.7